

基本目標		若い世代の県内定着に向けた学生の確保と産学官連携による県内就職の促進					実施組織	第1ワーキンググループ				
取組内容		2023年度KPI	2023年度計画内容			2023年度計画内容に対する実施内容						
<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①県内高校生やその保護者を対象に高等教育機関の魅力共同発信</p> <p>②近隣県を対象とした学生募集の共同実施</p> <p>③県内高校生への進学情報（オープンキャンパス情報）の一元発信</p> <p>④県内大学への進学状況を分析し高大接続対策へ活用（データ分析、検討会の開催）</p> <p>⑤高校生への共同模擬講義・実習の実施</p> <p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期の課題解決型インターンシップの拡大</p> <p>②産学官が共同企画した新たなインターンシッププログラムの実施</p> <p>③県内産業の魅力発信を促進する参加校共同授業の実施</p> <p>④地域指向型科目の共同授業化の推進</p> <p>⑤学生と県内企業経営者との交流会の開催</p> <p>⑥県内産業の魅力などを伝える学生・保護者対象の就職説明会の共同開催</p> <p>⑦地域人材育成をテーマとしたFDの開催</p> <p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①留学生共同サポートセンターの設置・運営</p> <p>②国内で実施される留学生向けの進学説明会（留学生募集活動）の共同参加</p> <p>③留学生向けの就職セミナーや企業との交流会など、就職支援の共同実施</p>		<p>a.</p> <p>①年10回</p> <p>②年1回</p> <p>③年1回</p> <p>④年1回</p> <p>⑤年1回</p> <p>b.</p> <p>①8高等教育機関</p> <p>②2件</p> <p>③年3科目</p> <p>④1科目</p> <p>⑤年9回</p> <p>⑥年2回</p> <p>⑦年3回</p> <p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②年2回</p> <p>③年3回</p>	<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①検証結果に基づく見直し改善</p> <p>②アンケート調査結果により改善等の検討</p> <p>③検証結果に基づく見直し・改善</p> <p>④実施状況を検証し、改善案のとりまとめ</p> <p>⑤アンケート調査結果を基に改善等の検討</p> <p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①長期インターンシップの準備</p> <p>②実施結果を基に改善等の検討</p> <p>③授業科目増加に向けた検討</p> <p>④授業科目増加に向けた検討</p> <p>⑤見直し改善後の交流会の実施</p> <p>⑥就職説明会の改善に向けた検討</p> <p>⑦検討結果に基づく新しいFDの実施</p> <p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①改善等の実施</p> <p>②改善策に基づいた実施</p> <p>③検証結果に基づく改善実施</p>			<p>a.県内高等教育機関への進学への促進に向けた取り組み</p> <p>①Youtubeチャンネル「とくしままるごとキャンパスガイド」において各大学の魅力を発信する動画を8本投稿した。また、「進学相談会」（徳島市：主催は受験産業企業）に参加し、対面で県内高校生等に魅力について情報発信を実施した。依頼があった高等学校に出向き、説明会等を実施した。（10回以上）</p> <p>②鳴門教育大学と徳島大学が、「四国地区国立大学連合アドミッションセンター」（基幹：愛媛大学）を構成し、四国5国立大学との緊密な連携のもとで、進学ガイドを実施した。（「四国地区国立大学合同入試相談会・説明会2023」：大阪市、名古屋市、福岡市）（3回）</p> <p>③県内高等教育機関のオープンキャンパス日程情報を記載したポスター及びチラシを県内高等学校に配布した。（1回）</p> <p>④徳島県教育委員会が作成した教育調査報告書と県内高等学校4校（城南高校、徳島科学技術高校、徳島商業、城西高校（神山校含む））の3年生を対象に進学意識調査を実施し、分析結果をもとにWGにおいて取組内容の検証と改善案のとりまとめを行った。（1回）</p> <p>⑤COC+R共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」に那賀高校、阿南光高校生が参加。鳴門教育大学において高校生を対象とした公開授業「大学授業等体験活動」を令和5年7月21日～27日（土日除く）の間で実施した。徳島県内外より約100名の高校生が参加。徳島商業高校に四国大学、徳島大学、徳島文理大学、鳴門教育大学、徳島工業短期大学が大学の魅力を伝える共同出張授業を実施。（2回）</p> <p>b.産学官連携による県内定着の促進に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学において、前年度に続き、単位互換科目として、実践型インターンシップの経営課題型と地域課題型を開講した。[経営課題型/受講者数：15、参加企業数：5]、[地域課題型/受講者数：20、参加機関数：5]（8高等教育機関）</p> <p>②徳島大学において、前年度に続いてエクスターンシップ（地域企業を知る・読み解く）を開講した。[受講者数：85（徳島大学：72、同大学院：11、徳島文理大学：2）、参加企業数：29]（1件）また、徳島大学において、産学協議会基準に準拠した就業体験型インターンシップ（科目名：短期インターンシップ）を開講した。[受講者数：52、参加企業数：21]（1件）さらに、県外の大学に進学した県内出身者等を対象としたUIIインターンシップを開講した。[受講者数：13、参加企業数：10]（1件）</p> <p>③参加校共同授業「徳島の魅力・徳島で働く」を、8月13日（木）、9月1日（金）、4日（月）、5日（火）に対面（学外者へはWEBINER配信）で開講した。[受講者数：149（内最終レポート提出者：59）※県内高校生26名、一般参加者2名を含む。]（1科目）また、連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」（科目名：地域政策論1）を11月から1月の間に開講した。[受講者数：50（徳島大学：50、）]。（1科目）</p> <p>④協定に基づく単位互換科目を46科目とした。（46科目）また、連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」（科目名：地域政策論1）を11月から1月の間に開講した。[受講者数：50（徳島大学：50）]。</p> <p>⑤徳島大学において、前年度に続いてエクスターンシップ（地域企業を知る・読み解く）による企業等の経営者・OBと学生のグループ対話や半日の企業等訪問を実施した。[実施回数：44（5月：3、6月：4、7月：12、8月：13、9月：12）]（年44回）</p> <p>⑥県内産業の魅力伝える徳島オンライン合同企業説明会を開催した。徳島県主催の徳島就活フェアを四国大学交流プラザで開催した。（2回）</p> <p>⑦徳島大学が主担当校として「地域人材育成フェスタ(2月19日)」を開催。四国大学が主担当として「N高から学ぶバーチャル教育(10月13日)」を開催。徳島文理大学が主担当校として「地域人材育成リスタートフォーラム(2月15日)」を開催。(3回)</p> <p>c.留学生の確保と県内定着に向けた取り組み</p> <p>①留学生共同サポートセンターとくしま：留学生県内定着促進事業による就職支援セミナー、ジョブフェア-&交流会、県内企業のインターンシップを実施・鳴門教育大学：第1回徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会（web会議）（11月29日）、第2回徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会（書面会議）委員・監査員＝学生課長、徳島地域留学生交流推進協議会（3月）（整備済み）</p> <p>②四国大学と徳島工業短期大学共同で「外国人留学生対象大学見学ツアー」を実施（6月23日、7月21日、10月6日）（3回）</p> <p>③留学生共同サポートセンターとくしま：就職支援セミナー（5月12日、6月9日、6月23日、10月13日、12月21日、1月19日、2月16日）、県内企業のジョブフェア及び交流会（7月31日）、県内企業インターンシップ（9月26日、28日）を開催。（年10回）</p>						
自己評価	取組施策項目数 15 件		2023年度未達成項目数 0 件			※ ¹ 取組内容の達成度 3		※ ² 年度計画の達成度 3				
	取組内容	a.) ①～⑤について実施済み。 b.) ①～⑦について実施済み。 c.) ①～③について実施済み。	年度計画	a.) ①～⑤について、KPIを達成済み。 b.) ①～⑦について、KPIを達成済み。 c.) ①～③について、KPIを達成済み。								
今後の課題	取組内容が多岐にわたり参画機関の負担があったと思われる。今後は、効果検証のうえ、継続する項目と削減する項目、新たに追加する項目の検討が必要である。					対課題策	実施項目の選定並びに実施体制の見直し					
取組に対する根拠資料データ												
<p>a)①②鳴門教育大学ウェブページ：「学部入学希望の皆さまへ」（学部進学相談会のURL）https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/02/014.html※² 徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会開催通知・資料、留学生就職支援プログラムチラシ※²</p> <p>b)①・シラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=0090903&je_cd=1）②・シラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=0090902&je_cd=1）及びシラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=1001331&je_cd=1）③・シラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=1047213&je_cd=1）・チラシ：連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」④・令和5年度とくしま創生人材教育プログラム・授業科目一覧・シラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=1047213&je_cd=1）・チラシ：連続公開講座「徳島で観光まちづくりを考える」⑤シラバス（徳島大学HP内URL：https://eweb.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2023&lct_cd=0090902&je_cd=1）・令和5年度COC+R事業エクスターンシップコーディネーター等業務・業務日報（R5、5、～9）（不開示）⑦・チラシ：令和5年度FD地域人材育成フェスタ※³</p> <p>c) ①③徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会開催通知・資料、留学生就職支援プログラムチラシ※²①③https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/career_support/（留学生共同サポートセンター）※³</p>										資料保管責任者		
										所属	※ ¹ 四国大学、※ ² 鳴門教育大学、※ ³ 徳島大学	
										氏名	※ ¹ 吉田、※ ² 日野、※ ² 平井、※ ³ 橋川、※ ³ 正本	
ワーキンググループ開催回数（11）回/年												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4/20（合同）	5/29		7/13（合同） 7/31		9/14（合同）	10/19（合同）	11/16（合同）	12/21（合同）	1/25（合同）	2/29（合同）	3/28（合同）	

※(合同) 創生人材教育開発委員会WG

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）

基本目標		地域産業の活性化と地域課題解決への貢献					実施組織		第2ワーキンググループ			
取組内容		2023年度KPI		2022年度計画内容			2022年度計画内容に対する実施内容					
<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①光関連産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施</p> <p>②ものづくり産業分野における企業との共同研究・共同事業の実施</p> <p>③農林水産業の6次産業化の推進</p> <p>④産学官連携による阿波藍の魅力創造発信の推進</p> <p>⑤インダストリー4.0に対応した、AI、IoT、ロボット等の実装の支援</p>		<p>a.</p> <p>①3件</p> <p>②73件</p> <p>③57件</p> <p>④年11回</p> <p>⑤7件</p>		<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①共同研究等の実施状況の検証</p> <p>②共同研究等の実施状況の検証</p> <p>③6次産業化に向けた具体的な取り組み</p> <p>④新しい取り組みの実施</p> <p>⑤具体的な取り組みの実施</p>			<p>a.地域産業の活性化の推進に向けた取り組み</p> <p>①徳島大学、四国大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校で実施した。(32件実施)</p> <p>②各高等教育機関により共同研究を実施した。(55件実施)</p> <p>③各高等教育機関及び徳島県において6次産業化に向けた取り組みを実施した。(55件実施)</p> <p>④阿波藍の魅力を発信するとともに、新たな取り組みを実施した。(11回実施)</p> <p>⑤徳島大学および四国大学により実装支援の講座を実施した。(6件実施)</p>					
<p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①市町村との共同研究・共同事業の推進</p> <p>②県との連携事業の推進</p> <p>③県民の生活習慣改善や心身の健全を支援する健康改善プログラムの実施</p> <p>④大学と県が連携して実施しているボランティアパスポート事業の拡充</p> <p>⑤共同での地域の課題解決フィールドワークの実施</p> <p>⑥地域課題解決の取組に必要な専門教員の共同人材バンク設置</p>		<p>b.</p> <p>①15件</p> <p>②130件</p> <p>③3プログラム</p> <p>④5高等教育機関</p> <p>⑤3テーマ</p> <p>⑥2020年設置</p>		<p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①共同研究等の実施</p> <p>②新たな連携事業の実施</p> <p>③健康改善プログラムの実施</p> <p>④ボランティアパスポート事業の拡充実施</p> <p>⑤課題解決型フィールドワークの実施</p> <p>⑥人材バンクの運営</p>			<p>b.地域課題解決への貢献に向けた取り組み</p> <p>①各高等教育機関において市町村との共同研究・共同事業を実施した。(22件実施)</p> <p>②県と高等教育機関において連携事業に取り組むとともに、新たな連携事業を実施した。(139件実施)</p> <p>③各高等教育機関において健康改善プログラムを実施した。(15プログラム実施)</p> <p>④2020年度から四国大学・四国大学短期大学部に拡充して実施している。(5高等教育機関 延べ249名参加)</p> <p>⑤地域の課題解決を目的としたフィールドワークを実施。(9テーマ実施)</p> <p>⑥8高等教育機関から専門教員の情報を集約し、徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」のホームページ上において、「地域課題解決共同人材バンク」を設置、運営した。</p>					
<p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①学生が災害発生時にボランティア活動等を円滑に行える体制の整備</p> <p>②自治体が開催する災害関係の会議への参画</p> <p>③大学版BCPの作成の推進</p> <p>④共同での防災講座の実施</p>		<p>c.</p> <p>①2019年整備</p> <p>②8高等教育機関</p> <p>③8高等教育機関</p> <p>④3講座</p>		<p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①訓練の実施</p> <p>②自治体の災害会議への参加・加盟組織への周知</p> <p>③必要に応じた支援の実施</p> <p>④防災講座の実施</p>			<p>c.災害リスクマネジメントの強化に向けた取り組み</p> <p>①ボランティア活動を行える体制を整備し、徳島県総合防災訓練、徳島県国民保護訓練に参加した。</p> <p>②自治体の災害関係の会議に全ての高等教育機関が参加し、加盟組織に周知した。(7高等教育機関)</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対策を含むBCPの作成を行った。(7高等教育機関)</p> <p>④徳島大学および徳島文理大学、四国大学、阿南工業高等専門学校で防災講座を実施した。(6講座)</p>					
自己評価	取組施策項目数		15	2023年度未達成項目数		5	※ ¹ 取組内容の達成度		3	※ ² 年度計画の達成度		3
	取組内容	a.)①～⑤について実施済み。 b.)①～⑥について実施済み。 c.)①～④について実施済み。					年度計画	a.)①、④について、KPIを達成済み。 b.)①～⑥について、KPIを達成済み c.)①、④について、KPIを達成済み。				
今後の課題	各項目とも概ね計画通りに実施することができたが、a.②、③、⑤及びc.②、③についてわずかにKPIに届かなかった。5年間の取り組み実績を検証し、継続する項目、削除する項目、新たに追加する項目などの検討が必要である。					対応課題	実施体制を見直すとともに、新しい中長期計画に基づき実施する。					
取組に対する根拠資料データ												
○【集計データ】PF第2WG 2023年度の取組調査について（調査項目・回答様式） 各高等教育機関・徳島県・まなびーあ徳島ホームページ 学生災害ネットワーク登録者一覧										資料保管責任者		
										所属 徳島文理大学地域連携センター 氏名 藤巻 晃		
ワーキンググループ開催回数 (4) 回/年												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1回 5月30日						第2回 11月27日 (メール審議)		第3回 1月23日		第4回 3月7日 (メール審議)	

※¹※² 達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）

基本目標		次代を担う人材の育成と多様な学び直しの機会の創出				実施組織		第3ワーキンググループ															
取組内容		2023年度KPI		2023年度計画内容				2023年度計画内容に対する実施内容															
<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議など共同のFD・SD研修会の開催</p> <p>②プラットフォーム事業に関連する共同IRの実施</p> <p>③各高等教育機関等が有するサテライトオフィスの共同利用の推進</p> <p>④新たな単位互換や共同授業化の推進</p> <p>⑤施設の共同利用の推進</p>		<p>a.</p> <p>①3回</p> <p>②推進</p> <p>③推進</p> <p>④3科目</p> <p>⑤推進</p>		<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①共同FD・SD研究会の実施についての検証</p> <p>②共同IRの実施</p> <p>③運用状況の検証と見直し案の検討</p> <p>④新しい単位互換制度の実施</p> <p>⑤施設の共同利用の実施</p>				<p>a.高等教育機関の教育内容の充実のための交流拡大に向けた取り組み</p> <p>①T-SPOD会議を全3回開催。プラットフォーム共同のFD・SDを計3回実施。(6回)</p> <p>②共同IRの実施方法をWGで検討し、県内高校4校の3年生約800名とプラットフォーム参画大学8校の卒業年次の学生を対象にIR調査を実施。(1回)</p> <p>③共同利用の実施についてWGで検討を行った。</p> <p>④コンソーシアムとくしまにおいて参画大学間で新しい単位互換を実施(7科目)</p> <p>⑤参加校間で共同利用できる設備を追加購入し利用開始。徳島文理大学と徳島大学が共同研究のため薬学部を共同利用。また、四国大学にて徳島大学職員が機器センターを利用。</p>															
<p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①小・中・高校生向けの科学技術人材を養成する体験講座の実施</p> <p>②小・中・高校生向けの学習支援事業(大学の施設、設備を活用した事業)</p> <p>③小・中・高校生を対象としたキャリア形成支援の実施(出前授業の実施等)</p> <p>④共同での地域の課題解決フィールドワークの実施(再掲)</p> <p>⑤長期の課題解決型インターンシップの拡大(再掲)</p> <p>⑥地域人材育成をテーマとしたFDの開催(再掲)</p>		<p>b.</p> <p>①6講座</p> <p>②30講座</p> <p>③170回</p> <p>④3テーマ</p> <p>⑤8高等教育機関</p> <p>⑥年3回</p>		<p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①新しい講座の実施</p> <p>②新しい学習支援授業の実施</p> <p>③小・中・高生が満足できる出前授業の実施</p> <p>④課題解決フィールドワークの実施</p> <p>⑤長期インターンシップの準備</p> <p>⑥検討結果に基づく新しいFDの実</p>				<p>b.地域を支える人材の育成に向けた取り組み</p> <p>①WGにおいて実施する講座の内容等の検討を行い「とくしま科学技術アカデミーsociety5.0体感事業」を実施。(四国大学、徳島大学、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校で各1講座実施。)今年度新規事業として次世代科学者発掘・養成講座を鳴門教育大学が主催で実施。(6講座)</p> <p>②小中高との接続を円滑に行うための検討がなされた。各高等教育機関において大学の施設・設備を活用した学習支援事業の提供。(四国大学23回、徳島大学2回、徳島文理大学2回、徳島工業短期大学2回、阿南高等専門学校9回)(37講座)</p> <p>③四国大学、徳島大学、徳島文理大学、鳴門教育大学、徳島工業短期大学が大学の魅力を伝える共同出張授業を実施。四国大学、徳島大学、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南高等専門学校での出張講義プログラム(出前講義等)の実施。(196回)</p> <p>④地域の課題解決を目的としたフィールドワークを実施。(9テーマ)</p> <p>⑤徳島大学において、前年度に続き、単位互換科目として、実践型インターンシップの経営課題型と地域課題型を開講した。[経営課題型/受講者数:15、参加企業数:5]、[地域課題型/受講者数:20、参加機関数:5](8高等教育機関)</p> <p>⑥徳島大学が主担当校として「地域人材育成フェスタ(2月19日)」を開催。四国大学が主担当として「N高から学ぶバーチャル教育(10月13日)」を開催。徳島文理大学が主担当校として「地域人材育成リスタートフォーラム(2月15日)」を開催。(3回)</p>															
<p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なりカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①県民ニーズに対応した生涯学習に係る新しい公開講座の充実</p> <p>②産業界のニーズに対応した実践的なりカレントプログラムの開発・提供</p> <p>③教育訓練給付金制度を活用したリカレントプログラムの充実</p> <p>④リカレント教育情報の一元的発信</p>		<p>c.</p> <p>①40講座</p> <p>②20プログラム以上</p> <p>③4プログラム</p> <p>④2019HP開設</p>		<p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なりカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①新しい公開講座の実施</p> <p>②新プログラムの実施</p> <p>③新リカレントプログラムの実施</p> <p>④リカレント情報発信の検証</p>				<p>c.リカレント教育を含む多様なニーズに対応した実践的なりカレントプログラムの開発・提供に向けた取り組み</p> <p>①四国大学オープンカレッジで「ハンガリー刺繍入門」や「動画編集を副業に」などの新規講座を講座追加。(内訳:四国大学45講座、徳島大学7講座、徳島文理大学7講座)(59講座)</p> <p>②四国大学と徳島県中小企業団体中央会が連携して作成した産業界のニーズに対応した新プログラム等を実施。(37プログラム)</p> <p>③四国大学、徳島文理大学、徳島工業短期大学、徳島大学にて教育訓練給付金を活用。(内訳:四国大学2プログラム、徳島文理大学1プログラム、徳島工業短期大学1プログラム、徳島大学2プログラム)(6プログラム)</p> <p>④徳島県が開設している「とくしまリカレント教育支援センター」にてリカレント情報を発信。</p>															
自己評価	取組施策項目数		15 件		2023年度未達成項目数		0 件		※ ¹ 取組内容の達成度		3		※ ² 年度計画の達成度		3								
	取組内容	a.)①～⑤について実施済み b.)①～⑥について実施済み c.)①～④について実施済み						年度計画		a.) ①～⑤について、KPIを達成済み。 b.) ①～⑥については、KPIを達成済み。 c.) ①～④について、KPIを達成済み。													
今後の課題	各参画機関を取り巻く環境の変化や取組の効果も踏まえた上で、取組の継続、削除、変更、追加を検討する必要がある。						対課題策の		次年度計画策定時に各参画機関と協議の上、取組項目の見直しを行う。														
取組に対する根拠資料データ																							
a.①令和5年度SPOD加盟校内プログラム一覧、チラシ各種、②県内高校生対象IR調査報告書、③第27回第3WG議事録、④令和5年度COC+R単位互換科目一覧、⑤とくしま産学官連携プラットフォーム 共通備品・共通設備について												資料保管責任者											
b.①Society5.0体感事業チラシ各種、②大学訪問依頼書、③共同出張講義企画書、出張講義依頼書、④FWチラシ各種、⑤徳島大学実践力養成型インターンシップHP、⑥FD・SDチラシ各種																							
c.①令和5年度四国大学オープンカレッジパンフレット(前期・後期)、②オンリーワン補助事業企画書、③四国大学HP、④とくしまリカレント教育支援センターHP																							
ワーキンググループ開催回数 (7) 回/年																							
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
4/26				6/22						9/7		10/19				12/21		1/25				3/7	

※¹※² 達成度(4段階):4(計画を上回って実施)、3(計画通り実施)、2(計画を下回って実施)、1(未実施)